

子育て・親子支援

様式1

No	1	中央公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	夏休み・親子陶芸体験教室（※）	実10138037 報10247212		
2	子育て支援講座	講義	子どもの心と体作り	実10157543 報10293297		
3	家庭教育学級	講義	ベビープログラム（ＢＰ）	実10166397 報10315180		
4	家庭教育学級	講義	クリスマスコンサート 親子でクラシックに親しもう！	実10284926 報10364973		
5	家庭教育学級	講義	ベビープログラム（ＢＰ）第四コミセン分	実10304350 報10428160		

様式2-1

【事業の概要】

No	1	中央公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	夏休み・親子陶芸体験教室							
ねらい	① 夏休みの就学児童たちが家庭で過ごす時間が多くなる時期に、児童と保護者がコミュニケーションをはかる機会とする。 ② 同年代の児童や保護者同士の交流をはかる。 ③ 陶芸を体験することにより、親子が共に楽しみ、学び、想像する喜びを知ってもらう機会とする。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月26日(金)		「夏休み・親子陶芸教室」① ～粘土で形づくり～			—	350円	
	10:00	12:00				土の会・陶榮会		
	32	32						
2	8月6日(火)		「夏休み・親子陶芸教室」① ～釉薬（ゆうやく）塗り～			—	—	
	10:00	12:00				陶榮会・土の会		
	32	27						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	夏休み期間中に開催したため、親子での参加ができ、良い思い出づくりとなり、もの作りを通して創造する喜びを知る機会となったと考える。また、講師の方、保護者、小学生との三世代に渡る幅広い世代感交流となった
地域のニーズにこたえているか	○	上記に同じ
企画・事前準備は十分であったか	○	中央公民館で活動している陶芸グループ2団体に講師を依頼し、事前に2団体との打合せを行った。打合せでは、当日の講座運営作品の窯入れ、窯出し（素焼き、本焼き）の当番等を決め、全体の流れの確認を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	参加した子どもたちからは、「色を付けるのが楽しかった」との感想が多く寄せられ、保護者からも「とても楽しく親子で思い出ができた」との声が多く寄せられた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	中央公民館で活動している陶芸団体に方に協力いただき普段の学習成果を生かしていただいた。しかし、参加者が陶芸の団体に加入する等の還元には至らなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	H P、中央公民館報で周知を行った。募集人数16組に対し49組の応募があった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	材料の粘土以外、釉薬等の薬品類は陶芸団体から無償で提供されたもので、講座自体もボランティアで講師を請け負ってくださっているなど、団体の負担が大きいので団体に還元できるようなことを考えたいと思う。	
改善点	協力団体より、席への案内表示が分かりづらいとの指摘があったので案内表示をもっとわかりやすいものに変えて次回開催したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	例年の応募状況からみて、夏休み期間に実施する本講座の需要がかなり高いことが分かったので引き続き実施していきたい。今回も定員を大幅に超える応募があったが、陶芸窯や部屋の大きさを考えると定員を増やすのは厳しいと考える。	

留意事項等	
-------	--

	
粘土で好きな形に成形	釉薬を塗っている様子

様式1

No	2	上川淵公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	実習	親子パン教室	実10166649 報10214193		
2	家庭教育学級	実習	親子じゃがいも収穫チャレンジ (※)	実10168872 報10229314		
3	家庭教育学級	実習	親子さつまいも収穫チャレンジ	実10257729 報10331921		
4	家庭教育学級	実習	抱っこひもでエクササイズ	実10274306 報10347911		
5	子育て支援講座	講義	知っていますか？ヤングケアラー	実10373398 報10459733		

様式2-1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	親子じゃがいも収穫チャレンジ							
ねらい	① 親子のふれあいを深める。 ② 地域の方々との世代間交流を図る。 ③ じゃがいもの収穫を通して、食べ物の大切さを学ぶ機会とする。							
対象	☒ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	6月29日(土)		親子じゃがいも収穫チャレンジ(収穫体験) ・地区地域づくり協議会食育部会員が育てたじゃがいもを、食育部会員指導のもと親子で収穫する。				—	—
	9:00	11:00					上川淵地区地域づくり協議会 食育部会会員	
	10組	10組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	農業に触れる機会が減っているため、今回が良い機会になったと考える
地域のニーズにこたえているか	○	即日定員になり、アンケート結果の満足度も高かったことから概ねこたえられたと考える
企画・事前準備は十分であったか	○	スムーズに開催できたため概ね十分だったと考える
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果が95%を超えていたため、満足度は高かったと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	食育サポーターのやりがいにも繋がったため、概ね十分だったと考える
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	申込初日に定員に達したため、概ね十分な周知が行えたと考える

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	地域づくり協議会の方たちが収穫の仕方などを親子に熱心に教えてくれ、どの家族も親子で協力しながら楽しそうに収穫し、最後は笑顔でじゃがいもを持ち帰って行った。アンケートの満足度も高く、食育に繋がる良い講座になったと考える。また、アンケートに地域づくり協議会食育部会員さんの丁寧な指導があり良かったとの言葉もあり、世代間交流も図ることができたと考える。	
改善点	こどもが収穫する際、保護者が手を出してしまう場面が多く見受けられたため、こども達がしっかり収穫体験ができるよう、保護者の方たちにサポーターさん達を通して働きかけをし、こども達主体で行えるようにしていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	アンケートの満足度も高く、食育に繋がる良い機会になることと、収穫体験を通して地域づくり協議会食育サポーターとの世代間交流も図ることができ、会の活性化にも繋がることから、今後も継続して行っていきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
収穫の様子	収穫の様子

様式1

No	3	下川淵公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	バランスボールエクササイズ & おしゃべりママサロン	実10170311 報10239635		
2	家庭教育学級	講義・実習	親子絆作り”赤ちゃんが来た！ (ベビープログラム 略称BP)	実10184300 報10397535		
3	家庭教育学級	実習	抱っこ紐・おんぶ紐エクササイズ	実10262579 報10316923		
4	家庭教育学級	実習	寝相アート@下川淵地区子育てサロン	実10275572 報10332766		
5	家庭教育学級	講義・実習	親子リトミック教室 (※)	実10264724 報10346308		
6	家庭教育学級	実習	親子でチャレンジ！どろだんごづくり	実10322309 報10377563		
7	家庭教育学級	実習	子育てサロンクリスマス会	実10364409 報10378365		

様式2-1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	9,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	親子リトミック教室							
ねらい	① 同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。 ② 親子が心身共にリフレッシュし、講師の子育て体験談を聞いたり、参加者同士で子育ての悩みを共有することで、不安やストレスの解消を図る。 ③ 地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月22日(金)		<0・1歳対象> ①リトミックってなあに ②リトミック実習（音楽に合わせて親子でふれあう） ③子育て相談 ④手遊び歌（大きな栗の木の下で、他）			4,500円	—	
	10:00	11:30				山谷 美歌		
	10組	8組						
2	11月30日(土)		<2・3歳対象> ①リトミックってなあに ②リトミック実習（音楽に合わせて親子でふれあう） ③子育て相談 ④手遊び歌（大きな栗の木の下で、他）			4,500円	—	
	10:00	11:30				山谷 美歌		
	10組	8組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	親子参加型講座としたことで、日々、仕事や家事で忙しくしている保護者の方とこどもがじっくりと触れ合う時間を設けることができた
地域のニーズにこたえているか	◎	公民館報でいち早く周知したところ、下川淵地区在住の方でほぼ枠が埋まった
企画・事前準備は十分であったか	○	2回とも円滑に講座を進める事ができた
学習者の満足度はどうであったか	○	楽しかったという意見が多かった。特に2回目については、1回目のアンケート結果を元に内容の調整ができたため非常に好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	下川淵地区在住の講師に依頼し、参加者も地区在住の方が多く、誘い合って参加してくれている様子も見受けられた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	まずは下川淵地区の方に来ていただきたいと考え、館報と地区回覧で周知し、想定通り地区の方を多く集めることができた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	募集を開始してすぐに定員に達したことから、音楽系講座への関心の高さが開催前からよくわかった。講座の内容としては、音楽やピアノの音に合わせて親子一緒になって身体を動かす内容で、講座中ほとんどの時間を親子が同じ内容に集中して過ごすことから、こどもの情操教育にはとても良い内容だと感じた。日頃、忙しくしている保護者も、講座であれば、こどもと1対1で向き合っていることができるので、保護者にとっても有意義な時間を過ごすことのできる講座になっていたと思う。	
改善点	1回目の講座の最後に、保護者の精神的なケアを目的としてお悩み相談コーナーを設けたが、もっと音楽と触れ合いたかったといった意見が見受けられた。2回目の講座では、講師が参加者の様子に合わせて、各テーマにかける時間をうまく配分してくれたおかげで、満足度の向上に繋がっていたことから、今年度好評だった時間配分を参考に来年度も実施したいと考える。また、低月齢のこどもと参加した保護者の中には、手助けが欲しかったという内容の意見もあり、参加者の状況や様子に応じて声掛けやサポートを行う必要性も感じた。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	講座当日の様子からも、アンケートからも参加者の満足度の高さがうかがえた。常に保護者とこどもが一緒に活動を行う内容だったので、音楽的な学びだけでなく親子がゆっくりと触れ合う貴重な時間を創出することができたと考えている。また、同じ年齢層のこども同士や保護者同士の触れ合いが生まれることで、地域内での交流の促進にも寄与できたと考えている。	

その留意点等	
--------	--

	
0・1歳向け講座の様子	2・3歳向け講座の様子

様式1

No	4	芳賀公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	おやこのじかんF O R キッズ	実10143829 報10180679		
2	家庭教育学級	講義・実習	おやこのじかんF O R ベビー 第1回ピラティス&バランスボール	実10151606 報10212880		
3	家庭教育学級	講義・実習	おやこのじかんF O R ベビー 第2回乳児の救命救急	実10151606 報10212880		
4	家庭教育学級	実習	芳賀公民館館長の秘密のスマホを探せ！ (芳賀地区周遊型謎解きゲーム) (※)	実10245883 報10332621		
5	家庭教育学級	研修	クリスマスファミリーコンサート2024	実10299929 報10342164		
6	子育て支援講座	講義	ちょっと気になる子のサポート講座 発達障がいの特徴の理解と支援～	実10381903 報10423379		

様式2-1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	11,847円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	芳賀公民館館長の秘密のスマホを探せ！（芳賀地区周遊型謎解きゲーム）							
ねらい	① 親子で楽しむ機会を提供する。 ② 親子でいっしょに問題に取り組むことにより、親子の交流を図る。また、実施期間を1ヶ月設けることにより、参加日程を自由にし、参加しやすくすることで、家族での育児を図る。 ③ 地域への関心の向上を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月4日(金)～ 11月5日(火)		芳賀公民館館長のスマホが、怪盗コーミンカーンに奪われ、暗号が送られてきたところから始まる芳賀地区周遊型謎解きゲーム。参加者は館長のスマホを探す役として参加。 ①暗号を解く。 ②地図の謎を解く。 ③公民館内の謎を解く。			—	—	
	平日 8：30 土日祝 10：00	平日 17：15 土日祝 17：00				なし		
	40組	41組 100人						

【事業の評価】

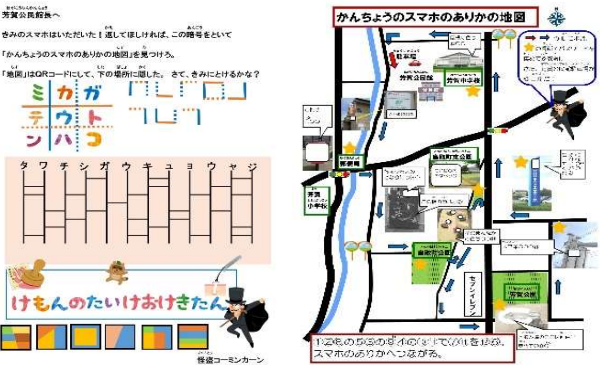
評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	共働きが多いので土日祝日にも参加できるように期間を設けて実施した
地域のニーズにこたえているか	△	高齢者の多い地域であるので、その要請に応えられたかは不明
企画・事前準備は十分であったか	○	事前準備である謎の作成にもう少し工夫をすればよかったと思う
学習者の満足度はどうであったか	◎	親子での会話が増えた様子や保護者自身が楽しんでいる様子が見られた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	芳賀地区を知ってもらおうきっかけにはなった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	H P、すぐる等を利用し、保護者へ周知が行えた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	42
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	40組の内1/3がリピーターのため、飽きることのないように新たな謎を作成するのが難しい。また、出発点が芳賀公民館であるため、周遊に限度があるので謎の作成等に創意工夫をしたい。父親が約30%参加しており、父母の子育て参加を促すことができたと思われる。	
改善点	募集開始日の午前中で定員を超え、47組で締め切ったが、定員を増やしてほしいとの意見が届いているので、人数を増やすことを検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	親子で楽しんでいる様子が伺え、アンケートでも来年度の参加希望が多く見られ、また、父親の参加率も高いので維持とした。	

留意事項その他	土日祝日に開催するため、スマホの届け先として、図書館芳賀分館の協力が不可欠である。
---------	---

	
館長へ送られた暗号/スマホのありかの地図	公民館内の謎/スマホの入った宝箱

様式 1

No	5	桂萱公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	わいわい子育てセミナー（前期その1）（※）	実10217395 報10299984		
2	家庭教育学級	講義・実習	わいわい子育てセミナー（前期その2）	実10245957 報10326369		
3	家庭教育学級	講義・実習	わいわい子育てセミナー（後期その3）	実10272744 変10294840 報10344522		
4	家庭教育学級	講義・実習	わいわい子育てセミナー（番外編）	実10273100 変10294224 報10333025		
5	家庭教育学級	講義・実習	わいわい子育てセミナー（前後期総集編）	実10333748 報10371987		
6	家庭教育学級	講義・実習	親子絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！” 「ベビープログラム」（愛称：BP）	実10279995 報10396915		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館	経費	29,500円								
事業名	子育て・親子支援		講座区分	家庭教育学級								
講座名	わいわい子育てセミナー（前期その1）											
ねらい	① 子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。 ② 子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで子育てしやすい環境を作る。 ③ 地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育ての世代が地域に参加する機会とする。											
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者					
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（ インスタグラム ）								
回	月日		学習主題・内容	講師謝礼金額		実費負担金額						
	開始	終了		講師名								
	定員	参加者										
1	9月2日(月)		はじめまして！わいわい親子あそび ・赤ちゃん体操や発達の話などをゲーム感覚で楽しく学ぶ	—	—							
	10:00	11:30		幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝								
	12組	9組										
2	9月5日(木)		ベビーダンス ・こどもを抱っこしたままリズムに合わせてバウンス（体を動かす）するダンス 親のストレッチ効果期待	4,500円	—							
	10:00	11:30		ベビーダンスインストラクター 加藤 七恵								
	12組	10組										
3	9月11日(水)		陶芸教室（*託児付き） ・こどもを預けての体験教室 土を捏ね作品作りを楽しむ < *託児謝礼 8,000円 >	11,000円	7,700円							
	10:00	12:00		桂萱学習グループ 陶芸クラブ 会長 下田 順子 他会員5名								
	12組	11組										
4	9月20日(金)		手形足形シールフラワーアート ・こどもの手形や足形などで今しか作れない作品を作る	6,000円	6,000円							
	10:00	12:00		peta peta art 坂本 ゆきえ								
	12組	12組										
5	9月25日(水)		きらきら笑顔で親子あそび ・こどもの年齢や“育ち”に合わせたあそびを親子で楽しむ	—	—							
	10:00	11:30		こども支援課 中隣副主幹 山崎専門員								
	12組	11組										
6												

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	育児で多忙の母親を孤立させないため、同年代の子を持つ母親同士が交流する良い機会となった
地域のニーズにこたえているか	○	地域の親子の仲間づくりの場となった
企画・事前準備は十分であったか	◎	運営委員会で意見を収集して企画・準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの結果、満足度平均97.48%であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	運営委員として引続き補助や講師として地域と関わりたいという方もいて人材育成に繋がった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	事前広報をより積極的に行うべきだった チラシ配りの強化

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	月に5回の連続講座を3か月（9月～11月）に渡り行い、その他館外講座や総集編となるクリスマス会を含め全17講座を開催した。月毎に子の対象月齢を変えて、同じ悩みや問題を抱えている親同士が話をすることで気持ちが楽になったり、身体を動かしたり物を作ることでリフレッシュできる時間となった。日曜日に2回実施したが、父親や兄弟と一緒に参加できることが好評だったため、次回も取り入れたい。	
改善点	もっとおしゃべりを楽しみたい、話す時間をもう少し長くしてほしいという要望もあったので、会話を重視する講座も考えたい。 外部からの講師を依頼する場合、十分内容を確認して話を詰めるようにする。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	講座の回数を重ねるごとに、皆さん明るい笑顔が見られフレンドリーに会話し、楽しそうに感じられた。様々なテーマを通して引き続き学びや創作などで子育て世代の親たちが地域と交流して参加する機会としたい。	

その留意事項等	特別編として「さつまいも掘り」を企画して準備していたが、諸般の事情により安全性が担保できないため中止とした。土や自然に触れることは有意義なことだと思うので、場所や環境を考慮して違った形で続けたい。
---------	--



②「ベビーダンス」の様子



③「陶芸教室」の様子

様式1

No	6	東公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	すくすく親子スクール（前期）	実10150470 報10208095		
2	家庭教育学級	講義・実習	すくすく親子スクール（中期）	実10239826 報10326543		
3	家庭教育学級	講義・実習	すくすく親子スクール（後期）（※）	実10335329 報10393844		
4	家庭教育学級	講義・実習	親子絆作り”赤ちゃんが来た！ （ベビープログラム 略称BP）	実10184300 報10397535		
5	子育て支援講座	講義・実習	あずま子育て、親子支援講座	実10187217 報10270833		
6	家庭教育学級	講義・実習	あずま子育て、親子支援講座（パパ・ママ講座）	実10155085 報10237702		

様式2-1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	すくすく親子スクール（後期）							
ねらい	① 保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ ② 親子でふれあうことにより、親子の絆を深める ③ 本事業は東公民館と群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す							
対象	■ 乳幼児	□ 小学生	□ 中学生	□ 高校生	■ 保護者	□ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	■ HP	■ チラシ	□ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	1月7日(火)		絵本は楽しい！！ ～絵本は楽しい～				—	—
	10:00	11:00					群馬医療福祉大学 教授 田中 浩之	
	46	36						
2	1月22日(水)		子どもの発達について！ ～赤ちゃんってかわいいなあ～				13,000円	—
	10:00	11:00					群馬医療福祉大学 准教授 八十田 晶子	
	46	33						
3	1月29日(水)		リズムに合わせて体を動かそう♪				—	—
	10:00	11:00					群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	
	46	32						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	少子化の中、親子でふれあい、子育てについて親子で集い学習することができた
地域のニーズにこたえているか	◎	地域連携での大学の先生を迎え講座をすることができた
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師との連絡、周知、参加通知滞りなくできた
学習者の満足度はどうであったか	◎	3回連続講座で託児付きもあり参加者からとても好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	アンケートより周りの友達に共有したいとあった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	募集人数より多くの参加申込みがあった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

48

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	年度最後の講座となり、皆さん顔見知りになっていた。託児付きの講座は、お母さんの満足度も高く、好評であった。お子さんが託児されていることで自分自身を振り返ったり、お母さん同士で意見交換したりとリフレッシュできる良い時間となった。大学の先生から教わる様々な内容は、とても説得力があり参加者からも好評であった。講師の先生も、お母さん目線に気を使っていたいており受講しやすいものであった。	
改善点	開催日程が、冬だったことで、参加者が風邪をを引いたり欠席する場面が多かった。できれば最終講座は、12月までに開催したい。3回連続講座の日程が、離れることで講座の参加を忘れてしまう参加者が何名かいた。公民館報に掲載するタイミングや通知のタイミングを考えたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	アンケート結果より、親子でリフレッシュできた、体も動かして楽しかった、託児の講座は、集中して自分の学びができてとても良かったとあった。アンケート結果も高評価であり、地域連携講座で、東地区内の大学の先生に教われることに参加者もとても満足していた。	

その留意事項等	
---------	--



1/22子どもの発達について（講義）



1/29リズムに合わせて体を動かそう（実技）

様式1

No	7	元総社公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名		管理番号	補
1	家庭教育学級	講義・実習	元総社すこやか学級（※）		実10213692 報10312124	

様式2-1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	4,500円		
事業名	子育て・親子支援事業				講座区分	家庭教育学級		
講座名	元総社すこやか学級							
ねらい	① 子育てに関する学習を通して (1) 明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。 (2) 育児における実践力を養う。 ② 同年齢の子どもを持つ親同士の交流や講師・託児協力者とを通じての交流 (1) 子育てに対する不安や孤独感を和らげる。 (2) それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	9月30日(月)		たこさんとあそぼう！ ～秋の森のお買い物ごっこ～			4,500円	—	
	10:00	11:30				田子 智代		
	10	4						
2	10月9日(水)		ほめて育てるコミュニケーショントレーニング (ほめトレ！) 入門			—	—	
	10:00	11:30				こども支援課職員		
	10	2						
3	10月16日(水)		きらきら笑顔で親子あそび			—	—	
	10:00	11:30				子ども発達支援センター 職員		
	10	2						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	概ね応えていると思ったため
地域のニーズにこたえているか	○	概ね応えていると思ったため
企画・事前準備は十分であったか	○	概ね十分であると思ったため
学習者の満足度はどうであったか	◎	実施後のアンケートから良かったと評しているため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	それぞれが学習したことを持ち帰って地域や仲間へ還元・波及できたと思うため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	事前の周知が難しかったと思ったため

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	40
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	参加された方からは「参加してよかった」「参考になった」等良い評価をいただいたが、連続講座となると保育園の面接やお子さんの体調不良などで欠席が多く参加者が読めないと感じた。もう少しニーズを考え、単発の講座でも良いようにするなど柔軟性を持ったほうが良かったかもしれない。	
改善点	公民館報への掲載、大友児童館へのチラシ設置依頼など住民の方々にお知らせする方法をもっと練るべきであったかと思う。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	県外からの転入され、知り合いがいない中で子育てを行うお母さんたちの仲間づくりに使ってもらいたいと思うため。	

留意事項その他	
---------	--

	
おかあさんといっしょに体を動かしてみよう！	お買い物ごっこで何を買おうかな？

様式 1

No	8	総社公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	すくすく教室（※）	実10279901 報10366143		
2	家庭教育学級	講義・実習	すくすく教室（クリスマスおはなし会）	実10311314 報10360288		
3	家庭教育学級	講義・実習	子育て応援を体験しよう（子育て支援講座）	実10227362 報10349879		
4	家庭教育学級	講義・実習	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！” （ベビープログラム：略称BP）	実10129879 報10201279		
5	家庭教育学級	講義・実習	おはなし会支援	実10143038 報10119103		
6	家庭教育学級	講義・実習	わくわく親子教室	実10382447 報10423870		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	8	総社公民館		経費	26,000円			
事業名	子育て・親子支援			講座区分	家庭教育学級			
講座名	すくすく教室							
ねらい	① 子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。 ② 親同士の交流を通し、安心して子育てができる環境の充実を図る。 ③ 保育園等各関係機関との連携を図る。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他 (すぐーる)				
回	月日		学習主題・内容		講師謝礼金額		実費負担金額	
	開始	終了			講師名			
	定員	参加者						
1	11月21日(木)		親子で食べられる栄養たっぷりの簡単ランチを作ろう ※総社地区保健推進員による託児あり (謝礼5,000円)		10,000円	—		
	10:00	12:00	総社地区 食生活改善推進員会 会長小畑輝代他9名					
	20	11						
2	11月28日(木)		きらきら笑顔で親子あそび		—	—		
	10:30	11:30	前橋市こども支援課職員					
	20	17						
3	12月5日(木)		「孤育て」じゃない「子育て」に ～みんなでおしゃべりしましょう～ ※総社地区保健推進員による託児あり (謝礼5,000円)		—	—		
	10:30	11:30	前橋市幼児教育センター 塩崎 政江					
	20	15						
4	12月12日(木)		【おたのしみイベント】保育園へいってみよう！！ ～親子・園児みんなで保育園クリスマス会～		—	—		
	10:00	11:30	総社保育園 保育士					
	20	14						
5	12月17日(火)		クリスマスおはなし会 オーナメントづくり		6,000円	—		
	10:30	11:30	前橋市読み聞かせグループ連絡協議会 顧問 田子 智代先生 前橋市読み聞かせグループ連絡協議会 総社読み聞かせの会副会長 牧 裕美子先生					
	20	12						
6								

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中の方に対しての講座ができ、現代的課題に答えられたと考える
地域のニーズにこたえているか	○	地域の方・子育てのスペシャリストが講師となり講座ができたため
企画・事前準備は十分であったか	○	各講座の講師と綿密な打ち合わせを行ったことで、問題なく実施することができた。
学習者の満足度はどうであったか	◎	託児付きで、お母さんの気持ちに寄り添った講座が非常に好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	グループを作ってママ友会を作ると良いかも、と案内したが今後に繋がらなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	生涯学習課のインスタグラムに加え、近隣の保育園の未就学児向けイベントで周知したところ、参加者が増えた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	全5回の連続講座としたが、会を増すごとに、お母さん同士が仲良くなり、かつ様々な講師の先生との出会いにより、充実した時間が過ごせたように見えた。地元地区の団体の協力や、総社保育園のご協力をいただき、満足度が高い講座を開催することができたと思う。	
改善点	季節柄、風邪を引き急遽欠席、といった連絡が多く、講座参加者の人数が安定しなかったため、季節や回数を変えて開催、なども検討していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	今回、託児付きの講座を開催し、「じっくりと学べた、育児中のお母さん同士で悩み共有ができた」などの感想をいただき、非常に好評であったため、今後も託児のある講座を開催していきたい。 総社地区の子育て親子事業として、季節ごとに行ってほしい、との意見もいただいたので、期間を分散させ定期的に行うなども含めて前向きに検討したい。	

留意事項等	
-------	--

	
12/5塩崎先生の講演会	12/17たこさんまきさんのクリスマスおはなしかい

様式1

No	9	南橋公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	「南橋すくすく子育て教室（前期）」（※）	実10168597 報10263292		
2	家庭教育学級	講義・実習	「南橋すくすく子育て教室（後期）」	実10327843 報10394419		
3	子育て支援講座	講義・実習	南橋子育て支援講座 『「助け上手は助けられ上手」援助の心理学』	実10294263 報10377873		

様式2-1

【事業の概要】

No	9	南橋公民館			経費	22,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	南橋すくすく教室（前期）							
ねらい	① 同年齢の子どもを持つ親子同士の仲間づくりを図る。 ② 親子共々、楽しみながら学習の機会を与える。 ③ 本事業を通し親子の新たな発見や可能性を引き出す。 ④ 母親の育児におけるストレスを解消し、より良い親子関係を築くためのサポートを行う。							
対象	■ 乳幼児	□ 小学生	□ 中学生	□ 高校生	■ 保護者	□ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	□ HP	■ チラシ	□ その他（				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月22日(木)		第1回 キラキラ笑顔で親子遊び			—	—	
	10:30	11:30				前橋市 子ども支援課		
	15	10						
2	8月27日(火)		第2回 親子ピラティス			3,000円	—	
	10:30	11:30				ピラティスインストラクター 峰岸 圭衣		
	15	12						
3			第3回 バランスボールエクササイズ 託児有：費用8,000円			3,000円	—	
	10:30	11:30				ピラティスインストラクター 峰岸 圭衣		
	15	13						
4			第4回 ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング 託児有：費用8,000円			—	—	
	10:30	11:30				前橋市 子ども支援課		
	15	11						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	講座を通じてリフレッシュ出来たとのアンケート結果もあり、母親の孤独化を防ぎ気分転換のきっかけになった
地域のニーズにこたえているか	○	親子で楽しめる講座、母親だけで楽しめる講座、多様な要求に対応する講座構成にした
企画・事前準備は十分であったか	◎	地区児童館で母親の興味のある講座内容を伺い、講師と公民館の特色である託児保育を設けより楽しめる講座内容準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートの満足度平均値 95 % 後期教室への継続率 46 %
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	託児保育を通じ、南橘地区保健推進員の活動理解が深まり、地区の保健情報の発信が出来た
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	集客層が多く出向く各児童館やBP最終回にチラシ配布し定員に達する応募があった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	48
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	児童館は児童福祉法、公民館は社会教育法による施設ですが、未就学児における講座構成を考えた時必然的に重複する講座内容になる。公民館の強みである各団体と協力し講座時の託児保育を実施し受講者の満足度と講座への理解度を深め一時的な気分転換の機会を提供し必要な情報発信と他機関への連携を行う。学習の機会を通じて今後の学校教育への橋渡しの機会になるように講座運営したい。チラシの配布について各公民館エリア毎にBPを開催しているが、BPの最終回に各公民館の子育て関連のチラシを配置するなどして周知する方法を確立してはいかがでしょうか。生後半年程度のこどもが多数集まる機会に配布を行えば効果が大きいと考えます。また保健所の集団検診の際に各公民館のチラシを配布すれば同様の効果が期待できると考えます。	
改善点	参加対象年齢が未就学児であり、対象年齢が広い。広い年代を集客できるがこどもの各発達段階に沿った内容にするためにはある程度の年齢区分を行ったほうがより深く効果的に講座構成出来ると感じた。同一講師で「はいはい期まで」「あんよ以降」など対象年齢を限定した連続講座に改善したい。また本講座における託児保育の実施有無は参加満足度に大きく関係している事が分かり、託児保育協力団体とより協力体制を維持したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
理由等	単発講座ではなく、連続講座で継続したい。本講座を担当し、連続で参加する中で母親同士が顔見知りが出来、自然と挨拶や世間話でコミュニケーションが取れるようになる状況が確認出来た。また育児情報講座、リフレッシュ要素、親子遊びなど多面的な講座の構成が出来る。公民館に通う事で、図書館の存在認識し、公民館事業への理解が深まり公民館の存在を発信出来る。	

留意事項等	託児保育は講座運営集客に大きな利点であるがこどもが母親を求めて泣いた場合、託児保育を続けるか又は母親に保育をお願いするかの判断が難しい。こどもの安全を最優先し、こどもに無理のない託児保育を行うのが最優先である旨を両者の共通認識としておく。
-------	---

	
バランスボール講座の様子 (講座会場は託児場所から廊下を挟んだ向かい合わせの多目的室)	託児保育中の様子 (こどもと保育者は1対1)

様式1

No	10	清里公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！” (ベビープログラム：略称BP)	実10129879 報 —		
2	家庭教育学級	実習	寝相アート写真を撮ろう！	実10304229 報10352407		
3	家庭教育学級	講義	パパママに知ってほしい！おくちのおはなし（※）	実10382582 報10449429		

様式2-1

【事業の概要】

No	10	清里公民館			経費	10,500円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	少年教室		
講座名	パパママに知ってほしい！ おくちのおはなし							
ねらい	① 家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。 ② 乳幼児期の子どもの口腔ケアについて、子育てをする親に学びの場を提供する。 ③ 事業を通じて、地区公民館を身近な存在として感じてもらう機会とする。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	3月19日(水)		むし歯しないためのお話とおやつのお話についての講演 や質疑応答			2,000円	—	
	10:27	11:02				講師 スマイルきっずデンタルケ ア新前橋歯科医院 歯科衛生士 田口 真由美 栄養士 女屋 敦貴 協力者 清里地区保健推進委員会2名		
	12組	1組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	乳児の口腔ケアについて、疑問に感じている保護者の要望にこたえる内容で企画できた
地域のニーズにこたえているか	△	前は盛況であったが、開催日程の設定が悪かったと思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	講師や協力者との事前の打ち合わせを十分に行いスムーズな運営ができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	専門的な知識や乳児の歯科受診のタイミングを知る機会となり満足度の高い内容であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	アンケートでは知人に知らせたいとの回答をいただいたが、地域に還元・普及されるかは不明
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	■	チラシを広範囲に配布したが成果がなかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今回は、親子一組の参加となり、定員を大幅に下回る結果となってしまった。講座の内容は、マンツーマンでリラックスして綿密な受講ができた上、託児に参加いただいた保健推進員の方からも「勉強になった。孫の面倒を見るのに活かしたい。」とお話を頂き、実のあるものになった。	
改善点	前は、定員にこそ達しなかったが、土曜日開催とし夫婦参加多く地区外から申し込みもあり盛況であった。今回は平日開催としたためか参加者は一組に終わってしまった。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加者が集まらないことについて、周知方法や講座の組み立て方（複数の連続講座のひとつとするなど）を工夫して、もっと、大勢の親子に参加いただけるよう考えたい。	

留意事項等	
-------	--

	
講義資料を壁に映写し、レジュメも配付し講義	幼児の歯を見て、歯磨きのアドバイス

様式 1

No	11	永明公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	実習	クールシェア きらきら笑顔で親子あそび	実10168990 報10247820		
2	家庭教育学級	実習	夏休みつくってあそぼう簡単実験工作	実10231617 報10247839		
3	家庭教育学級	実習	災害時も役立つ！親子で楽しむ簡単アウトドア料理	実10249570 報10313701		
4	家庭教育学級	実習	親子で一緒にリフレッシュ 親子でヨガ教室	実10274427 報10328681		
5	家庭教育学級	実習	たまにはママがりフレッシュ 託児付きヨガ教室（※）	実10274427 報10328681		
6	家庭教育学級	講義・ 実習	「Cafe えいめい」 美味しいコーヒーのハンドドリップ&ラテアート講座	実10342856 報10392171		
7	家庭教育学級	実習	トーンチャイムであそぼう！	実10275498 報10342836		
8	家庭教育学級	講義・ 実習	福を呼ぶお正月飾りを作ろう！	実10299129 報10344556		
9						
10						
11						
12						
13						
14						

【事業の概要】

No	11	永明公民館		経費	—					
事業名	子育て・親子支援			講座区分	家庭教育学級					
講座名	たまにはママがリフレッシュ！ 託児室付きヨガ教室									
ねらい	① 在宅にて保育中の親子に対し、託児室を設けることで講座に参加しやすい環境を作ることで、平日に公民館に出かけるきっかけを作る。 ② 在宅育児を行っている親子にリフレッシュの機会を作る ③ 在宅にて育児中のこどもが託児室を利用することで、ならし保育の体験をすることで今後のスムーズな保育施設等の入所につなげる。									
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者			
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他 ()						
回	月日		学習主題・内容		講師謝礼金		実費負担金額			
	開始 定員	終了 参加者			講師名					
1	10月30日(水)		・乳幼児育児中保護者保護者のためのストレッチ&リラックスヨガ (うち託児利用8人)		ヨガ 4,500円 託児 18,000円	—				
	13:00	15:00			ヨガ 教育支援機構北関東 託児 ドライナース事務局					
	8	16								
2	12月2日(月)		・乳幼児育児中保護者保護者のためのストレッチ&リラックスヨガ (うち託児利用8人)		ヨガ 4,500円 託児 18,000円	—				
	10:00	12:00			ヨガ 教育支援機構北関東 託児 ドライナース事務局					
	8	16								
3										
4										
5										
6										
7										

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	△	保育施設等の未就園児（待機児童）を在宅にて育児中の保護者に対する支援に寄与したと考える
地域のニーズにこたえているか	△	永明地区在住の参加者が多数のため一定の要請に応じていると考える
企画・事前準備は十分であったか	△	主講座及び託児室運営協力者との事前打ち合わせ・金額調整の上実施
学習者の満足度はどうであったか	○	主講座及び託児室運営協力者との事前打ち合わせ・金額調整の上実施
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	■	保護者のリフレッシュ講座のため地域還元等は十分で無いと思われるが、参加者同士で保育施設入所等の情報交換する姿が見受けられた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	地域保育施設のチラシ配布、公民館報、HPまた、口コミによる申込みも見受けられた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 30

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	子供を預け集中し講座に取り組めることもあり、参加者からは大変好評であった。講座終了の際には、複数の参加者から開催回数と託児人数の増加を希望する声があり、また参加申込者も口コミから講座の都度増えていることから潜在的な需要は多くあると考えている。	
改善点	託児室運営は現状としてボランティア（謝礼）のみでは行うことができず。有料の託児サービスを利用することが必要であり、経費と参加人数を鑑みると費用対効果は決して高いとは言えない。今後事業継続するにあたっては、予算と他事業・講座の実施状況を鑑み、回数の調整と参加者からの託児室使用料を徴収する等検討が必要と考えている。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	在宅育児中の保護者にとって公民館講座には興味があるものの、子どもの預け先がないために参加を断念していた事が参加者の声からも感じられた。一方で前述の通り託児室運営は経費面での課題もあるため、翌年度以降も事業が継続できるよう検討を進めたい。	

留意事項等	
-------	--

	
ヨガ教室の様子	託児室の様子

様式1

No	12	城南公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	親子ふれあいあそび・ベビーマッサージ	実10272837 報10347732		
2	家庭教育学級	実習	キーホルダー作り	実10272837 報10347732		
3	家庭教育学級	実習	ベビーマルチクリップ作り	実10272837 報10347732		
4	子育て支援講座	講義・実習	楽しく学べる食育講座（※）	実10327478 報10380701		

様式2-1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	23,500円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	楽しく学べる食育講座							
ねらい	① 乳幼児期の親子のふれあいと心豊かな体験を与えるための支援として、親子が触れ合う機会を提供し円滑な親子関係を築く②子育ての悩みなどを共有できる仲間作りを促し、孤立することなく健やかな子育て期を過ごす③子育ての不安解消やリフレッシュの場とする							
対象	■ 乳幼児	□ 小学生	□ 中学生	□ 高校生	■ 保護者	□ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	□ HP	■ チラシ	□ その他（				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月6日(水)		・親子ふれあいあそび・ベビーマッサージ			4,500円	—	
	10:00	12:00				大矢 宏美		
	10組	7組						
2	11月14日(木)		・リングキーホルダー作り ＜＊託児謝礼 5,000円＞			4,500円	—	
	10:00	12:00				大矢 宏美		
	10組	7組						
3	11月21日(木)		・ベビーマルチクリップ作り ＜＊託児謝礼 5,000円＞			4,500円	—	
	10:00	12:00				大矢 宏美		
	10組	7組						
4	1月15日(水)		・食育講座（魚嫌いをなくそう） ＜協力者7名＞			10,000円	—	
	10:00	12:00				城南地区 食生活改善推進員		
	15	12						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中の保護者同士の交流やボランティアとの交流ができた
地域のニーズにこたえているか	○	親子で楽しめる講座や母親同士の交流ができた
企画・事前準備は十分であったか	○	講師との打ち合わせで母親に興味がある講座を企画し、楽しめる講座にした
学習者の満足度はどうであったか	◎	託児保育がありがたかったとの声を多く頂いた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	託児保育をして頂いた城南地区保健推進員やボランティアの会の方々から、これからも協力したいとの声があった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館や図書館に掲載、協力団体にも周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	参加者同士の交流ができ、親子で楽しめた講座となったと思う。託児を入れた事により、ママたちが集中し、自分の時間を楽しめたと感じた。地域との繋がりも少し広がったと思う。	
改善点	参加者の集客が困難、BP参加者にチラシを配布したが、今後検討する必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域とのつながりが希薄の中、子育て関しても孤立してしまいがちだが、講座を通じて親同士の交流の場として公民館を利用してもらいたい。	

留意事項その他	
---------	--

	
制作の様子	ボランティアの方と遊ぶ様子

様式1

No	13	大胡公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	実習	赤ちゃん体幹運動	実10152438 報10225561		
2	家庭教育学級	実習	手形・足形アート	実10152438 報10225561		
3	家庭教育学級	実習	親子で一緒にリトミック (※)	実10152438 報10230789		
4	子育て支援講座	実習	プチエクササイズでココロとからだのリラックス	実10154593 報10219097		
5	家庭教育学級	講義・実習	親子の絆づくり “赤ちゃんがきた！” (ベビープログラム略称BP) 大胡、宮城、粕川3館合同	実10287834 報10356818		

様式2-1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	6,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	親子で一緒にリトミック							
ねらい	① 6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子が、講座をととして子育ての知識や技術を学び、親子の交流を深める ② 就学前の子どもを持つ親が講座をととして子育てについて学び、交流を深め、教育の出発点である家庭教育力の向上を目指す							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月6日(火)		大胡・宮城・粕川公民館合同開催 ピアノに合わせてリトミックを楽しむ			6,000円	—	
	10:00	12:00						
	親子8組	親子4組						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	教育の出発点である家庭教育力の向上を目指し実施できた
地域のニーズにこたえているか	○	広い地域での交流や仲間づくりができた
企画・事前準備は十分であったか	◎	3館合同講座のため事前に実施日や内容、準備等の打ち合わせを行った
学習者の満足度はどうであったか	◎	子どもと一緒に親子と遊べて楽しめ、家庭でも取り入れたいという声が多数あった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	学習グループ化には至らなかった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報に掲載、幼稚園、図書館、金融機関、支所等にてチラシを配布した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	ピアノに合わせたリズム遊び、音階体操、手遊びなど様々な内容により、親子7組18人（大胡・宮城・粕川合計）が、伸び伸びと充実した時間を過ごせたように思える。夏休み中のため兄弟の参加もあり会場は大変賑やかになった。リトミックで学んだ遊びを家庭でも取り入れたいという声が多数あった。	
改善点	参加者人数が少ないため、周知方法を検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	少子化、核家族化により地域のつながりが希薄な状況に進む中、公民館を拠点とし、子育て中の親同士の交流の場になるよう、また、その機会づくりを行う必要があるため。	

留意事項等	
-------	--

	
”ミッキーマウスマーチ”に合わせて歩く様子	音楽に合わせて”ハイハイ”

様式1

No	14	宮城公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	実習	めばえ学級 親子リトミック リズムに合わせて動いてみよう	実10189049 報10247609		
2	家庭教育学級	実習	めばえ学級 楽しく遊ぼう めり絵・工作・手遊び・体操等	実10189049 変10247610		
3	家庭教育学級	実習	めばえ学級 楽しく遊ぼう めり絵・工作・手遊び・体操等	実10189049 変10247610		
4	家庭教育学級	講義・実習	ひよこ学級 お口のお話とふれあい遊び	実10214882 変10258169		
5	家庭教育学級	実習	ひよこ学級 成長の記録にひと工夫	実10214882 変10258169		
6	家庭教育学級 子育て支援講座	講義	ひよこ学級・子育て支援講座共催 ～災害が起こった時に～ 乳幼児と保護者の避難生活と支援（※）	実10214882 報10324882		
7	家庭教育学級	講義・実習	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！” （ベビープログラム 略称B P）	実10257834 報10356818		

様式2-1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	—		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	子育て支援講座		
講座名	ひよこ学級及び子育て支援講座 ～災害が起こった時に～乳幼児と保護者の避難生活と支援							
ねらい	① 親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。 ② リフレッシュできる時間を提供する。 ③ 同年齢の子をもつ保護者同士や保健推進員と交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで、子育ての不安軽減を図る。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月8日(金)		～災害が起こったときに～ 乳幼児と保護者の避難生活と支援			—	—	
	10:30	11:30				日本赤十字社群馬県支部 幼児安全法指導員		
	12	8						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	災害が多発している中、避難生活と支援を改めて考える機会になったと思う
地域のニーズにこたえているか	△	保健推進員の方のみの参加となり、地域の要望をより取り入れる必要性を感じた
企画・事前準備は十分であったか	○	日本赤十字社群馬県支部の講習係の方と講座準備についての打ち合わせを行った
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートの満足度は高かった。講座中も熱心に聴き入っていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	保健推進員として、災害時に約立つ内容だったとの感想が多かった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	館報、ホームページ掲載、チラシ配布、他施設へチラシ依頼等をしたが、申込みには繋がらなかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	参加者の方々は、講師の方の話に聞き入り、講座中も質問が出て関心の高さが窺えた。具体的な例を挙げての説明だったので、避難生活と支援についてイメージしやすくわかりやすかった。また、実際に少ないお湯を使ってできるホットタオルの作り方を見たり、新聞紙で履物を作ってみる時間もあり、今後役立つ内容であったと思う。	
改善点	昨年同様、0歳から1歳6ヶ月未満児と保護者対象のひよこ学級の3回目と子育て支援講座を共催にしたが、ひよこ学級3回目の申込者はいなかった。保健推進員の方のみの参加だったので、今後は地域の要望をより取り入れ、開催形態や内容、周知方法の検討をしてきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	子育てに役立つ内容の講座を今後も検討していきたい。	

その留意点等	
--------	--

	写真②
講座の様子	説明

様式 1

No	15	粕川公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	実習	フラワートピアリー・ルームコロン作り 協力団体/かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10164655 報10167649		
2	家庭教育学級	講義・実習	親子で楽しく運動遊び・子育て講話 協力団体/粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10128558 報10190580		
3	家庭教育学級	実習	子育て支援センターの夏祭りに参加しよう 協力団体/粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10152857 報10215427		
4	家庭教育学級	実習	親子リトミック（大胡・宮城・粕川3館合同開催） 協力団体/きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10178234 報10241257		
5	家庭教育学級	講義・実習	親子で作って楽しく遊ぼう＋ミニ座談会 協力団体/きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10185625 報10271662		
6	家庭教育学級	講義	子どもの心と体作り（前橋市出前講座） 協力団体/粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10235783 報10297747		
7	家庭教育学級	講義	前橋市「健康ステップアップセミナー」 歯と口の健康教室 Face&Mouth体操＋乳幼児期のお口のはなし 協力団体/きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）	実10235783 報10321936		
8	家庭教育学級	実習	夏休み親子料理教室 協力団体/粕川地区食生活改善推進員	実10179071 報10259420		
9	家庭教育学級	講義・実習	親子の絆づくりプログラム”赤ちゃんが来た！” （ベビープログラム 略称B P） 大胡・宮城・粕川3館合同	実10257834 報10356818		

【事業の概要】

No	15	粕川公民館			経費	9,000円					
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級					
講座名	粕川公民館 はぴま子育て教室										
ねらい	① 親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる。 ② 子育ての不安解消やリフレッシュの場とする。 ③ 同年齢の子を持つ母親同士が交流することで、地域の中で子育て仲間を増やす。 ④ 地区内で未就学児親子のための事業を実施している施設間が連携・協力することで、それぞれの参加者同士を繋げ、地域交流の輪を広げる。										
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☒ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者				
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他 （協力団体へチラシ配布、広報依頼）							
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額		実費負担金額			
	開始	終了				講師名					
	定員	参加者									
1	5月14日(火)		フラワートピアリー・ルームコロン作り			4,500円	500円				
	10:00	11:30	協力団体			大矢 宏美					
	10	5	かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
2	6月11日(火)		親子で楽しく運動遊び・子育て講話			—	—				
	10:00	11:45	協力団体			今井 寿美枝					
	15	4	粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
3	7月9日(火)		子育て支援センターの夏祭りに参加しよう			—	—				
	10:30	11:30	協力団体			粕川保育所職員					
	5	5	粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
4	8月6日(火)		親子リトミック（大胡・宮城・粕川3館合同開催）			—	—				
	10:00	12:00	協力団体			飯塚 一美					
	5	7	きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
5	9月10日(火)		親子で作って楽しく遊ぼう＋ミニ座談会			4,500円	—				
	10:00	11:30	協力団体			高橋 陽子					
	5	1	きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
6	10月8日(火)		子どもの心と体作り（前橋市出前講座）			—	—				
	10:00	11:00	協力団体			こども支援課職員					
	15	4	粕川保育所、かすかわ児童館、きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								
7	11月12日(火)		前橋市「健康ステップアップセミナー」 歯と口の健康教室			—	—				
	10:00	11:00	Face&Mouth体操＋乳幼児期のお口のはなし			健康増進課職員					
	10	2	協力団体 きりんルーム（民生児童委員の子育てサロン）								

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	子育て中の保護者間の交流、地域子育てサロン等従事者との交流ができた
地域のニーズにこたえているか	○	子育て中の保護者間の交流、地域子育てサロン等従事者との交流ができた
企画・事前準備は十分であったか	○	各回講師との連絡調整ができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	良い学びにつながったというアンケート結果を多数受けている
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	協力団体のメンバーにも学びの場となっている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報掲載、チラシの配布をした。協力団体からの周知もした。

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める	平均点	42
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	公民館単独での講座開催では、どれだけ講座内容を工夫しても、参加者が無いという現実直面している。今年度も、協力団体にそれぞれの参加者に声掛けをしていただき実施が叶ったもの。対象としている未就学児親子のニーズに合う講座の計画をすることと、引き続き協力団体と共に開催出来ることが望ましいと考える。	
改善点	広報、周知について多くの方法を利用する。協力団体との連携を密にする。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	開催の回数、周知方法、共催団体との協力連携などを見直す必要があると考える。	

留意事項その他	
---------	--

	
6/11 親子で楽しく運動遊び・子育て講話	7/9 子育て支援センターの夏祭りに参加しよう

様式1

No	16	富士見公民館	事業名	子育て・親子支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	家庭教育学級	講義・実習	親子絆づくりプログラム”赤ちゃんがきた！” (ベビープログラム 略称BP)	実10357627 報10171602		
2	家庭教育学級	講義・実習	ベビーダンス教室 ～抱っこでベビーダンス～ (*)	実10155228 報10221281		
3	子育て支援講座	講義・実習	キッズ ベビーダンス教室 ～知育運動で楽しくスキンシップ～	実10155228 報10221281		

様式2-1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館			経費	9,000円		
事業名	子育て・親子支援				講座区分	家庭教育学級		
講座名	ベビーダンス教室～親子でリフレッシュ～							
ねらい	① 乳幼児とのスキンシップを通し、親子の交流を深める ② 小児科医監修の安全を考慮した内容を通して、親子が心身ともにリフレッシュする。 ③ 2から5か月の第1子とその親を対象としたベビープログラム（BP）参加者が継続したつながりを持つ機会とする。							
対象	☒ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（BP後（ファシリテーター了承））				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額		実費負担金額
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月19日（水）		「抱っこでベビーダンス」1 ～五感を使ってコミュニケーション～			4,500円	—	
	10:00	11:30				日本ベビーダンス協会 認定インストラクター 加藤 七恵		
	15組（30人）	12組（24人）						
2	6月26日（水）		「抱っこでベビーダンス」2 ～無理なく楽しくスキンシップ～			4,500円	—	
	10:00	11:30				日本ベビーダンス協会 認定インストラクター 加藤 七恵		
	15組（30人）	12組（24人）						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	小児科医監修の安全を考慮したプログラムであり、意識の高い学習者にも対応
地域のニーズにこたえているか	○	ベビープログラム (BP) 参加者等からの要望～親子で楽しく参加でき、他の親子ともつながりがもてる事業～に込めている
企画・事前準備は十分であったか	○	ベビープログラム (BP) 修了者が孤立した子育てとにならないよう継続して交流できる機会を含めた実施時期とし、首がすわった3か月から1歳半の対象年齢を企画し、広く募集もした
学習者の満足度はどうであったか	◎	参加希望者が多いため、講師と調整し広い会場に変更し定員を増やした。乳幼児対象の事業は親子の家庭的身体的状況から全員参加が難しいが、15組全員が参加できアンケートによる満足度も高評価であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	各回終了後参加者どうしで連絡方法を交換しながら情報交換をしていたため、ベビードダンス終了後、自主学習グループへの継続希望があり、現在も自主学習グループとして繋がりを継続している
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報掲載、チラシ (回覧及び館内設置)、ホームページ等で周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	定員を上回る申込み希望があったため、なるべく断らず希望通り受け入れるよう講師と調整し、当初の予定より広い会場に変更し実施。ジョイントマット上での1組ずつの親子ふれあいストレッチや、抱っこ紐でのベビードダンスでは充分動くことができていた。また、最初と最後の検温や、運動前の抱っこ紐の位置の調整確認を講師が1組ずつ丁寧に行っていたため、参加者と講師の信頼関係もうまれていた。	
改善点	会場が広がったことからベビードダンス後半の、音楽に合わせてのステップ中は講師の声が聞こえづらい時があった。講師は前後左右に動きながら手足も動かしていることから、タイミングをみてピンマイクを使用していただくなどの考慮も必要。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
理由等	子育て中の親子が一緒に楽しく参加できるような機会として、今後もこのような事業を実施してほしいとのアンケート結果が多かった。	

留意事項等	
-------	--

	
自己紹介と親子ふれあいストレッチ	手の動きやステップも取り入れてベビードダンス